



国際シンポジウム

グローバル化と因習に抗する女性たち

—エチオピアにおける女性支援 NGO の取り組みから—



21世紀に入りアフリカ諸国は、世界最後の経済フロンティアと呼ばれるほどの未曾有の発展を遂げ、エチオピアでも毎年10%に上る経済成長を続けています。ところが、女性性器切除をはじめとするジェンダー差別的な伝統的慣習が依然として存続しており、女性の社会的活躍の妨げとなっています。

このシンポジウムでは、自然も歴史も民族的背景も異なるエチオピアの三つの地域で、女性の地位向上を目指し、因習に抗して自らの活躍の場を広げようとしている NGO の活動を紹介し、これらの報告を受け、グローバル化する社会における女性の地位向上と NGO の役割、そして私たちとエチオピア女性たちとの関係のあり方について、実りある議論を展開したいと思います。

日時：2015年10月3日(土) 午後1時30分～午後5時 (午後1時より受付開始)

会場：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
A15棟 101講義室

交通アクセス 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

地下鉄御堂筋線「なかもず」駅5号出口から南東へ約1,000m

南海高野線「中百舌鳥」駅から南東へ約1,000m

南海高野線「白鷺」駅から南西へ約500m

* 大学ホームページで地図がご覧いただけます (<http://www.osakafu-u.ac.jp>)

参加費：500円 (大阪府立大学学生・教職員は無料)

申込要領

◆報告者

テシヨメ・シーニ (ICEDA 事務局長)
ホラ・スラ (ICEDA コミュニティ統括委員)
エロ・オド (ICEDA コミュニティ統括委員)
眞城 百華 (上智大学准教授、アフリカ地域研究)
宮脇 幸生 (大阪府立大学教授、文化人類学)

*ICEDA (Integrated Community Education & Development Association): エチオピアの NGO 団体

◆討論者

伊田久美子 (コーディネーター: 女性学研究センター主任、
大阪府立大学教授、ジェンダー論)
田間 泰子 (大阪府立大学教授、家族社会学)
浅井美智子 (大阪府立大学教授、社会思想)

①氏名(ふりがな)、②住所、③電話番号を記して、
EメールまたはFAXでお申し込みください。

〈申込先〉大阪府立大学女性学研究センター

Eメール: joseigaku@gmail.com

FAX: 072-254-9947

* 当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください。

* お申し込みの際の個人情報は、本シンポジウムの事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

〈問合せ先〉大阪府立大学女性学研究センター

TEL: 072-254-9948 (月～金 午後2時～午後5時)

Eメール: joseigaku@gmail.com